

第3回地域夢・未来カフェ in 清和台・清和台南

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、第2回に引き続き、「第3回地域夢・未来カフェ in 清和台・清和台南」が開催されました。

日時：2013年2月18日（月）10:00～12:00

場所：第2自治会館

参加人数：市民28名+市WGメンバー2名

当日のスケジュール

- 10:00 開会
- 10:05 当日スケジュール説明・ふりかえり
- 10:10 イントロダクション
- 10:20 テーブルワーク（活動案のとりまとめ）
- 11:35 グループ発表
- 11:55 今後の流れの説明
- 12:00 閉会

当日スケジュール説明～イントロダクション

開会のあいさつの後、前回のふりかえりと当日のスケジュールの説明がありました。その後、アイスブレイク「喪失体験」を行いました。フセンに「友人」「健康」「趣味」「お金」「役割」「仕事」という6つのキーワードを書き、ジャンケンに負けると1枚ずつ破っていくゲームです。残った付箋は人によりさまざまで、参加者の中でも価値観が異なっていることを体感しました。また、6つのキーワードは、年をとるごとに失っていくものですが、地域活動等で新しく得ることもできるという話もありました。



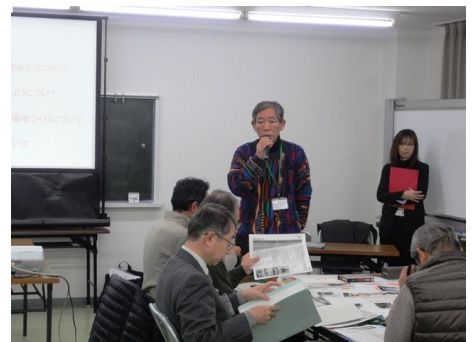
テーブルワーク～グループ発表

各グループのテーマ

- Aグループ：地域の拠点づくりについて
- Bグループ：地域の環境保全について
- Cグループ：子どもや高齢者などの居場所づくりについて
- Dグループ：安心・安全や利便性について

テーブルワークでは、第2回に引き続いて活発な議論が行われました。そして、試行錯誤しながら最終的な活動案がとりまとめられました。

活動案については、各グループから発表がありました。Aグループでは、ガーデンモールの空き店舗を活用した地域とのコラボ企画、Bグループでは岩根山の環境保全や公園のあり方を検討したもの、Cグループでは、子どもや高齢者などの居場所づくり、そしてDグループでは、地域が運行する助け合いバスについての話し合いが行われ、発表されました。



Aグループ 地域の拠点づくりについて

ガーデンモールの現状・課題

- ・日曜日の集客が少ない
- ・5周年記念でコーラスグループが歌っていた
- ・全国規模の情報は沢山あるが、地域の情報は得にくい
- ・ふらっと立ち寄れる場を誘致しているところ
- ・駅から遠い
- ・各テナントは自治会に入っている

地域からガーデンモールへの要望

- ・一度、話し合いの場を持たせてほしい

ガーデンモールから地域への要望

- ・ガーデンモールと小学校との橋渡し役になってほしい
- ・地域の情報をもっと教えてほしい

学生のチャンレジシップの場

- ・池田市の子ども預かりサービス

三世代交流の場

- ・お母さんがお茶を飲んでいる間に高齢者が子どもをみる

農作物を売る

- ・貸農園で取れた野菜を売る（川西阪急）
- ・個人で農作物を売る

社会実験の単発イベント

- ・ストリートミュージシャンを呼ぶ
- ・音が聞こえてくると人が見に来る
- ・1階のエスカレーター下のスペースがいい
- ・とりあえず一度やってみよう！！

Bグループ 地域の環境保全について

虫生川

- ・虫生川を活かすこと
- ・「守る会」が活動されている

岩根山

- ・放置竹林を使ってタケノコ掘り
- ・シイタケ栽培の挑戦も → 収穫体験
- ・ピザ釜など、若い世代を呼び込むきっかけに！
- ・岩根山を運動部のトレーニングの場を使う
- ・もっと活用！！マラソン大会なども
- ・土地台帳で所有者の確認→行政の協力

マップの作成

- ・看板、案内板の整備は進みつつある
- ・今後はマップも必要

アクセスをよくする（治安面での不安も）

- ・歩きやすい歩道の整備
- ・遊歩道へのアクセスの改善

公園のあり方

- ・軽体操などができるように
- ・ラジオ体操を子どもと一緒に年中やる
- ・室内でやっているものを外に出てやってもらう
- ・遊具の見直し、整備
- ・健康遊具は高齢の方に使ってもらえるのでは？
- ・三世代で使えるように
- ・親水公園に向けての整備
- ・公園使用基準の見直し
- ・大きいところはボール遊びもできるように！！
- ・地域で運営できるか？

地域分権に向けて

- ・用途を限定しない補助金、助成金ありがたい
- ・公民館の運営などを地域でできるか？
- ・色んな事業をしていきたい → NPO 法人化？
- ・清和台自治会+周辺自治会→ コミュニティ中心？
- ・コミュニティ中心の実行委員会が想定しやすい
- ・コミュニティ、自治会の役員が大変になってくる

Cグループ 子どもや高齢者などの居場所づくりについて

担い手について

- ・担い手が少ない
- ・世代間交流を活発にしていこうと思うと担い手の問題

団体ごとに巻き込む

- ・自治会と、子育て支援&高齢者グループへのアプローチ

個人を巻き込む

- ・教えてくれる人にスケジュールを合わせる
- ・曜日を固定しない
- ・サイン玄関に出す
- ・安否確認になる

公民館について

- ・使う人が限られている
- ・顔なじみのスタッフがいらない
- ・カタイイメージ
- ・運営を任せてもらえれば、グループ間の交流ができる、登録グループ以外も使える、出入りしやすい雰囲気

広報について

- ・掲示板を見やすくする
- ・自治会に加入していない人にニュースが伝わらない
- ・メルマガに本人が登録する
- ・ホームページを改善し、各団体へのリンクを張る
- ・回覧などで意見募集し、皆で投稿できるように
- ・視覚的に伝える

補助金について

- ・人数割で定額にする
- ・使途は地元にならせてほしい
- ・助成金の申請や報告が大変である
- ・関連補助金を一本化する

地域担当職員について

- ・色々なことをご存知で、経験が豊かな人
- ・清和台に住んでいる
- ・関係各所と調整できる
- ・広報の知識がある

Dグループ 安心・安全や利便性について

活動メニュー

- ・デマンド(予約)運行による高齢者の足の確保

活動場所

- ・自治会館(車両がおける)

運行主体

- ・コミュニティ→特別委員会(仮)→NPO(仮)

運転手

- ・地域の方(500円/h)

スケジュール

- ・3年かけてやります！明日からでも！

①スタート検討:3か月

②勉強会(運送法):半年後

③車両、ルート、ダイヤ

④仲間あつめ

⑤実験:2年後

⑥本格運行:3年後

利用イメージ

拠点:福祉部にTEL

車:軽自動車→タント

運賃:病院までは200円、地域内は100円

行政のサポート

- ・補助金(恒久的な)

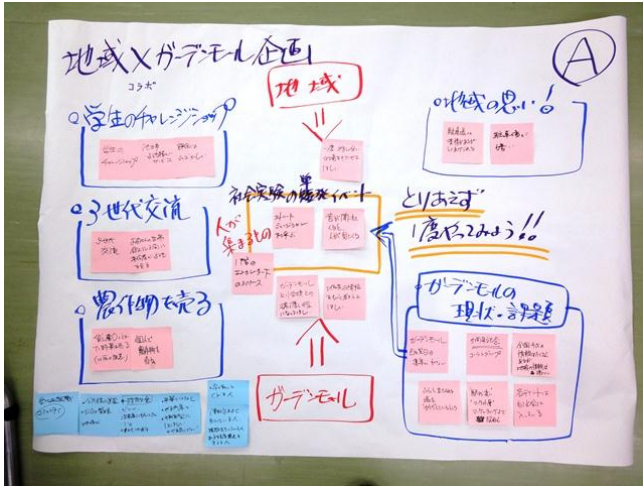
・法、バス運転についての勉強会、ノウハウ

・人件費を運行費に回す

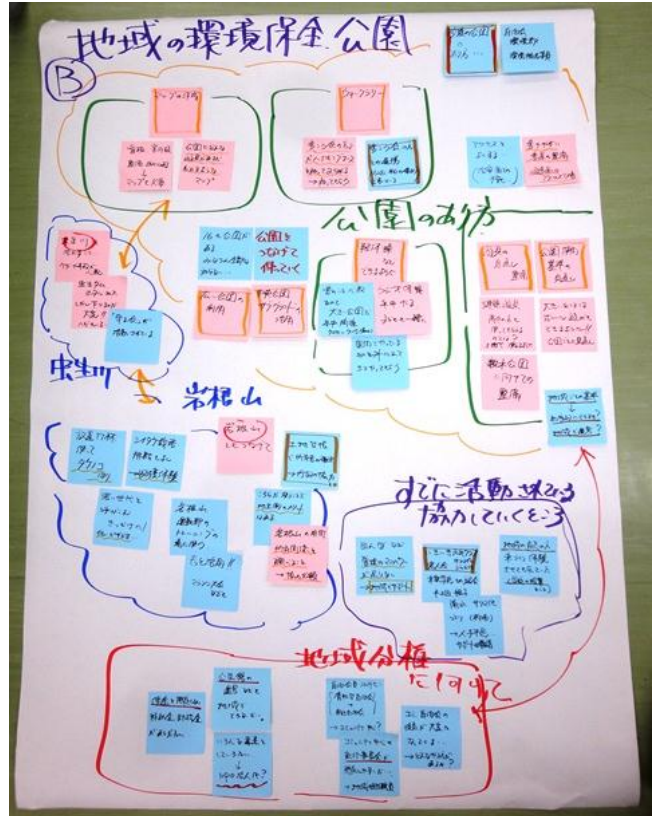
・行政の関係部署とのパイプ

・担当職員には地域の実情を踏まえて調整

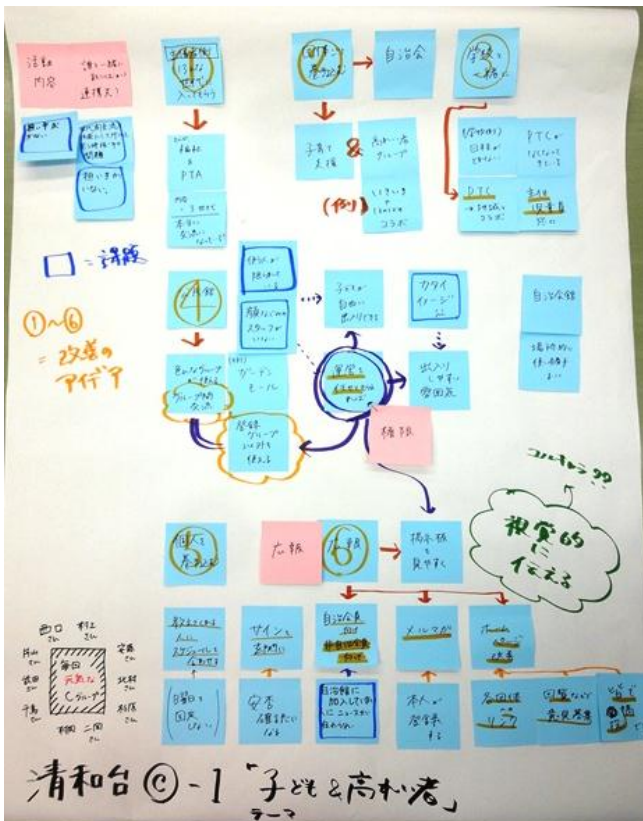
Aグループ 地域の拠点づくりについて



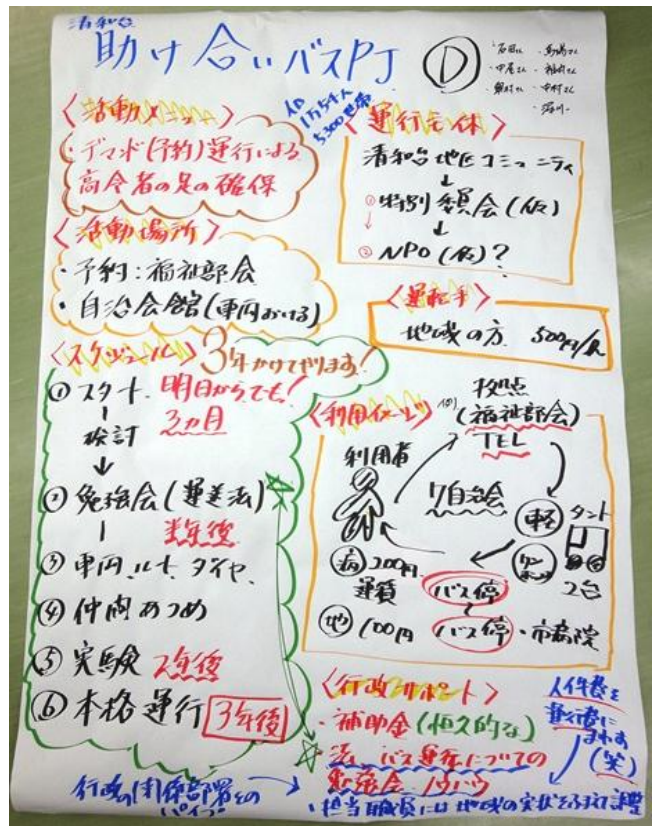
Bグループ 地域の環境保全について



Cグループ 子どもや高齢者などの居場所づくりについて



Dグループ 安心・安全や利便性について



各グループの模造紙画像